

第2章 現金・預金

1. 現金

現金は通貨のほかに通貨代用証券、すなわち郵便局や銀行等で即座に換金可能なものが含まれました。

(1) 3級・2級の重要論点

現金に関して、3級・2級の重要論点は2つあります。1つは冒頭でも触れた現金の範囲です。簿記上、通貨のほかに現金として処理されるものが5つあったので、覚えていない方は3級・2級のテキストを確認して下さい。もう1つの重要論点は、現金過不足の決算時の処理方法です。いずれも3級・2級で学んだことですが、1級の勉強においても重要となってくるので、しっかりと復習をしておきましょうね。

(2) 現金に含めてはならない項目

現金に含めてはならないにもかかわらず、誤って現金勘定で処理されやすい項目があります。次のような項目は簿記上の現金には該当しないので、もし現金勘定で処理されていれば決算時に正しい勘定科目へ振り替える必要があります。

- ① 先日付小切手……他人振出小切手のうち、振出日付が決算日よりも後になっているものがあれば、その日付が来なければ換金できない点で手形と同じ性質をもちます。よって、もしこれが現金勘定に含まれていれば、受取手形勘定に振り替えます。

例題2-1

決算につき、現金として処理してあった他人振出小切手を調べてみたところ、4月2日が振出日の小切手¥80,000が見つかった。なお、当社の決算日は3月31日である。

●例題解答

受取手形	80,000	現金	80,000
------	--------	----	--------

- ② 借受メモ・借用証書……会社の役員に会社から現金を一時的に融資した際に、その役員から借受メモや借用証書を受け取ったまま、記帳せずに放置されていたり、役員自らが金庫からお金を持ち出し、その旨のメモを金庫に残しておいたなどの場合があります。現金を実査したときに借受メモなどが発見され、このような事実が判明すれば、役員貸付金勘定（あるいは役員短期債権勘定）に振り替える必要があります。

例題 2-2

決算につき、金庫の中を調査したところ役員の借受メモ ¥70,000 が発見されたので、適切な勘定に振り替えることにした。

●例題解答

役員貸付金	70,000	現金	70,000
-------	--------	----	--------

練習問題 2-1

以下の資料にもとづき、決算整理仕訳を行いなさい（決算日 3月31日）。

- (1) 期中において現金として処理されていた小切手の中に 4月3日付けの他人振出小切手 ¥50,000 が含まれていた。
- (2) 決算にあたり金庫の中を調べてみたところ、役員の借受メモ ¥100,000 が発見された。

練習問題 2-2

以下の資料にもとづき、決算整理仕訳を行いなさい（決算日 3 月 31 日）。

- (1) 決算日の現金の帳簿残高は¥750,000 であるが、現金の実際有高を調べたところ以下の事項が判明した。

通貨・・・¥430,000

他人振出小切手・・・¥300,000

A 社からの株式配当金領収書・・・¥50,000（未処理であった）

B 社の期限の到来した社債の利札・・・¥30,000（未処理であった）

- (2) 決算日の現金の帳簿残高は¥3,500,000 であるが、現金の実際有高を調べたところ以下の事項が判明した。

通貨・・・¥2,300,000

他人振出小切手・・・¥900,000

自己振出小切手・・・¥150,000

役員借受メモ・・・¥135,000

A 社からの株式配当金領収書・・・¥149,000（未処理であった）

B 社の期限の到来した社債の利札・・・¥82,000（未処理であった）

2. 預金

預金には普通預金、当座預金、定期預金等がありますが、簿記上注意が必要なものは、当座預金と定期預金です。

(1) 3級・2級の重要論点

まず、3級で学習した当座借越については、仕訳の流れを確認しておきましょう。そして、2級で勉強した銀行勘定調整表については、1級の試験でも出題されたことがあるので、最重要復習論点の1つです。復習のポイントは3通りの銀行勘定調整表と修正仕訳です。

練習問題 2-3

下記の資料にもとづいて、解答用紙の3種類の銀行勘定調整表を作成し必要な修正仕訳を行いなさい。

(資料) 決算日(3月31日)の当座預金勘定残高は¥234,000であった。しかし銀行から送られてきた残高証明書の残高は¥280,000だったので、差異の原因を調べたところ以下の事項が判明した。

- (1) 決算日に預け入れた現金¥30,000が、銀行では翌日付入金として処理されていた。
- (2) 仕入先に振り出すはずの小切手¥23,000(記帳済み)が未渡しであった。
- (3) 仕入先に振り出した小切手¥54,000が決算日までに取立てが行われていなかった。
- (4) 借入金の利息¥1,000が当座預金口座から引き落とされていたが、未処理であった。

銀行勘定調整表

① 残高証明書の残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
銀行残高証明書の残高			¥()
(加算) ()	()		
	()		()
(減算) ()	()		
	()		()
当座預金勘定の残高			¥()

② 帳簿残高を修正する方法

銀行勘定調整表			
当座預金勘定の残高			¥()
(加算) ()	()		
	()		()
(減算) ()	()		
	()		()
銀行残高証明書の残高			¥()

③ 両者を修正する方法

銀行勘定調整表			
当座預金勘定残高	¥()	銀行残高証明書残高	¥()
(加算) ()	()	(加算) ()	()
(減算) ()	()	(減算) ()	()
調整残高	¥()	調整残高	¥()

修正仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)				
(2)				
(3)				
(4)				

(2) 定期預金

当座預金と違って定期預金には利子がつき、利払日に定期的に後払いされます。よって、決算整理において決算日前の利払日から決算日までの期間にかかる利子を見越計上する必要があります。また、貸借対照表日の翌日から1年以内に満期日をむかえる定期預金は、流動資産に計上されますが、1年を超えるものについては固定資産の投資その他の資産に長期性預金勘定（あるいは長期定期預金勘定）を用いて表示しなければなりません。

例題 2-3

定期預金¥1,000,000（×4年3月1日預入、満期日×7年2月28日、年利率4.5%で半年払）につき決算整理仕訳を行う。決算日は×4年3月31日であり、当該定期預金は流動資産（現金預金勘定）として記帳されている。

●例題解答

受取利息の見越計上

未 収 利 息	3,750	受 取 利 息	3,750
---------	-------	---------	-------

長期性預金への振替

長 期 性 預 金	1,000,000	現 金 預 金	1,000,000
-----------	-----------	---------	-----------

練習問題 2-4

次の資料にもとづいて、定期預金に関する決算整理仕訳を行いなさい。なお、決算日は×2年3月31日であり、現金預金勘定（流動資産）に計上されている。

(1) 金額 ￥500,000

(期間 ×1年5月1日～×3年4月30日、年利率3%で半年払)

(2) 金額 ￥800,000

(期間 ×2年2月1日～×3年1月31日、年利率1.5%で半年払)

練習問題 2-5

次の資料にもとづいて、貸借対照表および損益計算書（一部）を作成しなさい。なお、決算日は3月31日である。

【資料1】決算整理前残高試算表

残 高 試 算 表		(単位:千円)	
×8年3月31日			
現 金	64,400	支 払 手 形	320,000
当 座 預 金	51,000	買 掛 金	180,000
定 期 預 金	160,000	⋮	
受 取 手 形	400,000	受 取 利 息	3,700
売 掛 金	234,000	有 価 証 券 利 息	100
⋮		受 取 配 当 金	150

【資料2】決算整理事項

現金預金を実査したところ、次の事実が判明した。

1. 現金

- (1) 通貨 62,700 千円
- (2) 役員の一時融資の際の仮受メモ 1,500 千円
- (3) 支払期日の到来した社債の利札 100 千円（未処理である）
- (4) 配当金領収証 1,400 千円（未処理である）

2. 当座預金

銀行残高証明書残高 63,200 千円との差額は、次の原因による。

- (1) 売掛金の当座預金振込済で未通知のもの 3,500 千円
- (2) 掛代金支払のために振り出した小切手で銀行に未呈示のもの 7,000 千円
- (3) 一般管理費支払のために振り出した小切手で未渡しのもの 1,700 千円

3. 定期預金

- (1) 期間2年で100,000千円
(×7年5月1日～×9年4月30日 年利率3% 半年払)
- (2) 期間3年で60,000千円
(×5年9月1日～×8年8月31日 年利率4% 半年払)

貸借対照表

×8年3月31日

(単位:千円)

I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	()	支払手形	()
受取手形	()	買掛金	()
売掛金	()	未払金	()
役員短期債権	()		
未収収益	()		
II 固定資産			
投資その他の資産			
長期性預金	()		

損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日

(単位:千円)

IV 営業外収益		
1. 受取利息	()	
2. 有価証券利息	()	
3. 受取配当金	()	()
V 営業外費用		
1. 雑損		()

第2章 練習問題解答

練習問題 2-1

【解答】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	受取手形	50,000	現金	50,000
(2)	役員貸付金	100,000	現金	100,000

練習問題 2-2

【解答】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	雑損	20,000	受取配当金	50,000
	現金	60,000	有価証券利息	30,000
(2)	雑損	15,000	現金	69,000
	当座預金	150,000	受取配当金	149,000
	役員貸付金	135,000	有価証券利息	82,000

練習問題 2-3

【解答】

① 残高証明書の残高を修正する方法

<u>銀行勘定調整表</u>		
銀行残高証明書残高		¥(280,000)
(加算) (翌日付入金)	(30,000)	
(利息引落し)	<u>(1,000)</u>	(31,000)
(減算) (未渡小切手)	(23,000)	
(未取立小切手)	<u>(54,000)</u>	(77,000)
当座預金勘定の残高		<u>¥(234,000)</u>

② 帳簿残高を修正する方法

<u>銀行勘定調整表</u>		
当座預金勘定の残高		¥(234,000)
(加算) (未渡小切手)	(23,000)	
(未取立小切手)	<u>(54,000)</u>	(77,000)
(減算) (翌日付入金)	(30,000)	
(利息引落し)	<u>(1,000)</u>	(31,000)
銀行残高証明書残高		<u>¥(280,000)</u>

③ 両者を修正する方法

<u>銀行勘定調整表</u>			
当座預金勘定残高	¥(234,000)	銀行残高証明書残高	¥(280,000)
(加算) (未渡小切手)	(23,000)	(加算) (翌日付入金)	(30,000)
(減算) (利息引落し)	<u>(1,000)</u>	(減算) (未取立小切手)	<u>(54,000)</u>
調整残高	<u>¥(256,000)</u>	調整残高	<u>¥(256,000)</u>

修正仕訳

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	「仕訳不要」			
(2)	当座預金	23,000	買掛金	23,000
(3)	「仕訳不要」			
(4)	支払利息	1,000	当座預金	1,000

練習問題 2-4

【解答】

	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	未収利息	6,250	受取利息	6,250
	長期性預金	500,000	現金預金	500,000
(2)	未収利息	2,000	受取利息	2,000

練習問題 2-5

【解答】

貸借対照表

×8年3月31日

(単位:千円)

I 流動資産		I 流動負債	
現金預金	(180,400)	支払手形	(320,000)
受取手形	(400,000)	買掛金	(180,000)
売掛金	(230,500)	未払金	(1,700)
役員短期債権	(1,500)		
未収収益	(1,450)		
II 固定資産			
投資その他の資産			
長期性預金	(100,000)		

損益計算書

自×7年4月1日 至×8年3月31日

(単位:千円)

IV 営業外収益		
1. 受取利息	(5,150)	
2. 有価証券利息	(200)	
3. 受取配当金	(1,550)	(6,900)
V 営業外費用		
1. 雑損		(200)